

こんにちは うみ議会です

2025.11.14

No. 99

うみ議会だより
9月定例会

見てみて!! おねえちゃんと
バッタを捕まえたよ!



中学生が原田保育園で職場体験

P2 特集 中高生の居場所を開設

P4 9月定例会の概要
～人と環境に優しい予算～

P11 一般質問 町政を問う 6 人が登壇

P18 委員会活動報告



20ページに関連記事を掲載



第99号

発行/福岡県宇美町議会
編集/議会広報常任委員会
印刷/松影堂印刷(株)
発行日/令和7年11月14日

〒811-2192

福岡県糟屋郡宇美町宇美5丁目1番1号
TEL: 092-934-2248 FAX: 092-933-2281
E-mail: gikaie@town.umi.lg.jp

表紙にも掲載
しています

議会広報

こどもたちの笑顔とそれを支える方々にスポットを当てていきます

インタビューシリーズ 第18弾

中学2年生が
職場体験

毎年9月、町立中学校では2年生を対象に職場体験を行っています。
本町では中学生の職場体験を大切にしています。その中でも特に、継続して受け入れを行って
いる町立図書館と原田保育園での職場体験の様子取材しました。

こどもみらい課長からのエール

こどもみらい課では、将来
保育士になりたいと思う生徒
を増やしていくため、職場体
験を積極的に受け入れています。

また、保育士資格取得時の
教育実習でも、町立保育園を
利用してもらっています。

職場体験で学んだことを
生かし、素敵な保育士をめざ
して頑張ってください。



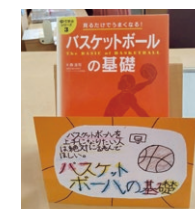
司書の仕事を体験

司書の吉野茉莉奈さんは「職
場体験を楽しみにしています。
毎年、司書を将来の仕事に選
びたいと考えている生徒が多く、
みんな本が大好きです。今回の
経験を生かして友達に読書の
素晴らしさを伝えてくれると嬉
しいです」と話されました。



本の修復作業に取り組む生徒たち

ポップづくりにチャレンジ!



ポップは、本の情報や魅力を紹
介するために作られる手書きのメッ
セージカードです。

限られたスペースで、本の魅力を伝
える技術を学ぶことも職場体験の
魅力の一つです。

Webアンケート

議会だより98号アンケートへのご協力ありがとうございました!

ご回答いただいた中で「予算の用途を、町民の思いとともに明記してあり分かりやすい」「議
会活動が定例会だけと思っている町民が多いので様々な活動をもっと記載してほしい」「分か
りやすい色合いで見やすい」などのご意見をいただきました。

いただいたご意見は、今後の議会広報作成に生かしていきます。

創刊100号に向けて、これまで以上にわかりやすく、丁寧に情報をお伝えしていきますので、
読んだ感想をぜひ、右部のWEBアンケートからお聴かせください。



議会傍聴メーター Gikaiboutyou Meter

2022年3月議会からの傍聴者 累計
9月定例会は35人が傍聴に来られました

296

【発行責任者】

議長 古賀 ひろ子

【議会広報常任委員会】

委員長 丸山 康夫 / 委員 高橋 紳章
副委員長 鳴海 圭矢 / 委員 安川 禎幸
委員 安川 繁典 / 委員 小林 孝昭

議会からのお知らせ

- ◆ 議会は年4回(3月・6月・9月・12月)
定例会が開かれます。
- ◆ 議会ホームページからは生中継がご覧
いただけます。
- ◆ 傍聴する場合は、役場3階の傍聴席入り口
で住所・氏名をご記入ください。

次回の議会は12月3日に開会予定です。

「こどもが笑顔になれる居場所を つくってほしい」の声に応じて ～中高生の居場所を開設～

「こども会議」を開催

町は、こども基本法に基づき、こどもたちの意見を聴きながら政策を反映していく「こどもまんなかまちづくり」の取組の一環として、令和6年11月にこども会議を開催しました。この会議では、こどもたちから「こどもが笑顔になれる居場所をつくってほしい」との声が町長に届けられ、その声を真剣に受け止めた町は、その想いをカタチにする『こどもの居場所づくり』に着手しました。



議論はオンラインで全ての学校に配信されました



こども会議のメイン会場を議員は直接見学しました

議会としての取組

私たち議会も、こどもたちの声を聴きとる目的でこども会議を見学し、その後、議会本会議での一般質問や常任委員会での質疑を重ねながら、町と議会は意見を交わし、『こどもの居場所』が完成しました。

今回、中でも、中高生の居場所となるコミュニティ広場えん（うみハピネス隣おむすび舎1階）に注目し、取材をしました。

コミュニティ広場「えん」

開設日 毎週火・木・土曜日
午後2時～7時
夏休みなど長期休暇中は
午前9時から開いてます

対象 宇美町在住の中高校生世代の方
(在学していなくてもOK)

定員 15名程度/日

場所 コミュニティ広場「えん」
宇美町貴船2丁目30-3

送迎 個別に要相談

**参加費
無料**

**あたたかい
食事あります**

お問い合わせ(見学・相談先)

(株)アバンセライフサポート 担当:田川さん

☎ 080-1704-7506

FAX 092-410-2286

Mail: community-en@a-lifesupport.co.jp

最新情報はここから

えんinstagram 町ホームページ



学習スペースも充実しています。
夏休みや冬休みも、みんなで取り
組めばかどるよ!



楽しく遊べるゲームも
盛りだくさん!
種類も増やしていく
そうです



こどもの声が反映された ホッと一息つける居場所

みんなの声は
ボックスへ



自分たちで作ったお菓子を
食べながらカラオケも楽し
めるよ!
そんな居場所が「えん」なん
です。



コミュニティ広場 「えん」

利用者の声を多く取り入れ、
ゲームや食事のメニューも
できるだけリクエストに応
えています。

食事は「えんcafe」で!

厨房で食事を作って提供しています。

利用者のアンケートに応じて取り入れたメニュー



ローストビーフ丼



オムライス

リクエスト

夏休み最後
の開所日
には、クレー
プパーティー
をしました!
生クリームと
チョコの組み
合わせ、ウイ
ンナーやツナ
マヨなどの
おかず系も
美味しくでき
ました。



リクエスト
利用者の声に応じて
かき氷機を導入。
ふわふわのかき氷は
美味しいよ!



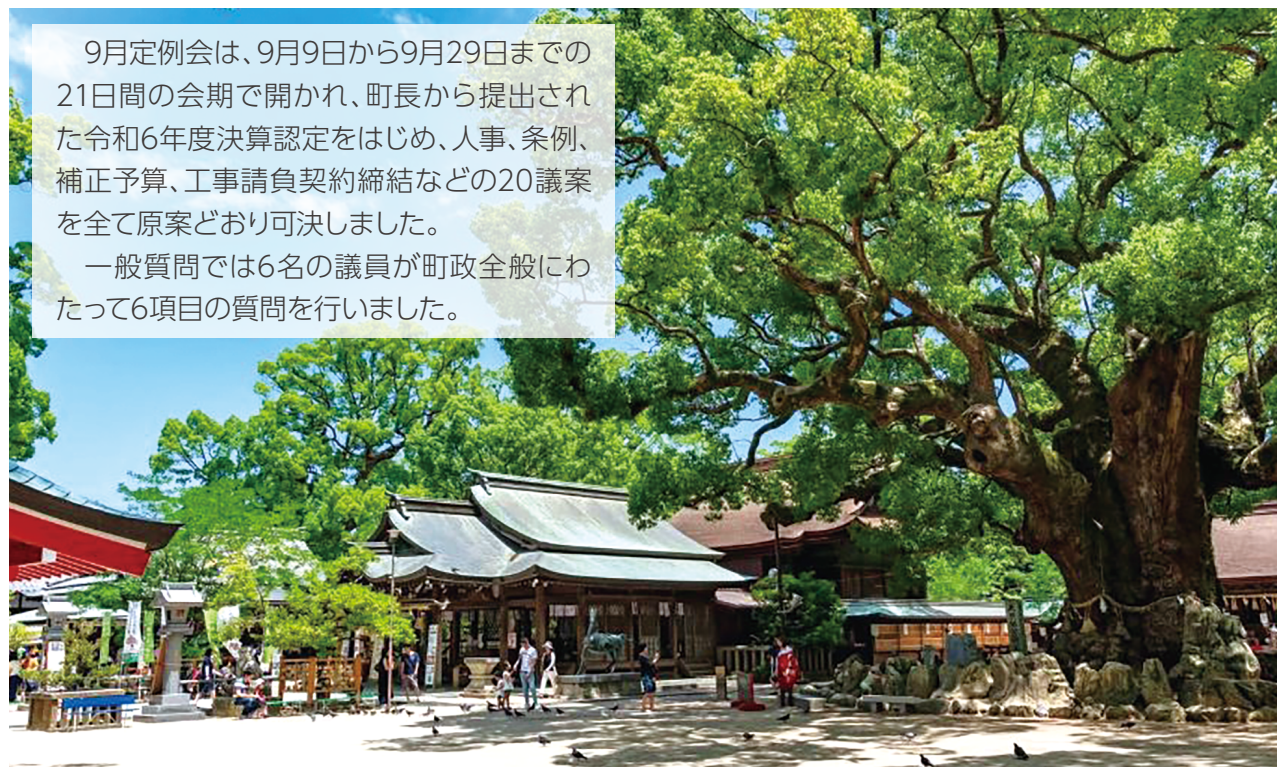
動画でご覧
いただけます。

9月定例会

人と環境に優しい予算

9月定例会は、9月9日から9月29日までの21日間の会期で開かれ、町長から提出された令和6年度決算認定をはじめ、人事、条例、補正予算、工事請負契約締結などの20議案を全て原案どおり可決しました。

一般質問では6名の議員が町政全般にわたって6項目の質問を行いました。



7月に国登録有形文化財に指定された宇美八幡宮

条例

宇美町子ども医療費の支給に関する条例等の一部改正

子ども医療費支給制度の規定等を整備する。助成範囲を高校生世代まで拡大し、子育て世代の経済的負担軽減を図る。（高校生世代負担額…通院は月500円、入院は無料）

一般会計
補正予算

**第3子以降保育料
無償化事業費補助金**

令和7年9月分からの第3子以降の保育料を無償化するため、県補助金、ふるさと応援基金を活用し、多子世帯の経済的負担軽減を図る。

新規

1351万円

一般会計
補正予算

**小・中学校体育館等
空調設備設置事業**

令和8年度以降に体育館空調を整備するにあたり、実施設計等を行うための経費。（緊急防災・減災事業費を活用）

新規

1763万円

東中バレー部
部長

夏の部活動では、熱中症対策で休憩を多く取りましたが、体調を崩す生徒もいました。暑さを気にせず活動できれば、練習に集中でき、技術の向上が図れると思います。

宇美中バスケット部
部長

夏の体育館は非常に暑く、水分補給をしながら部活動を行っています。空調が整備されれば、持久力向上の練習が可能となり、授業でも熱中症予防につながると思います。

一般会計
補正予算

懸垂幕製作委託料

宇美八幡宮（国登録有形文化財）、大野城跡（国指定特別史跡）、子育て支援（第7次宇美町総合計画重点方針）の懸垂幕を新たに製作し、まちの魅力をPRする。

増額

28万円

一般会計
補正予算

公用車購入費

「ゼロカーボンシティ」の実現のため、リース期間満了を迎える公用車を電気自動車に更新する。
（脱炭素化推進事業費、クリーンエネルギー自動車導入促進補助金を活用）

新規

316万円



(イメージ画像)

一般会計
補正予算

庁舎駐車場改修工事請負費

電気自動車を公用車として導入するにあたり、庁舎敷地内に公用車用充電コンセントを新設するため、改修工事を実施する。
（脱炭素化推進事業費を活用）

新規

264万円

一般会計

問 マイナンバーカードの
交付率と今後の事務手
続きは

鳴海 圭矢議員

答 現在の交付率は88.1%。カードや電子
証明書の更新事務は今後も必要である
ため、引き続き事務を行う。

問 個別避難計画作成にお
ける避難行動要支援者
システム導入の成果は

平野 龍彦議員

答 システム導入により要支援者名簿の作
成が容易になった。他システムとの連
携で随時最新名簿の作成が可能。

問 今後の病児保育事業の
継続方針は

丸山 康夫議員

答 引き続き宇美・志免・須恵の3町の共
同事業として、年内を目途に、須恵町
の水戸病院において開設する予定。

問 町道竹ヶ下～桜ヶ丘線
災害復旧工事の進捗状
況は

高橋 紳章議員

答 令和7年8月末時点での進捗率は77.2
%で、予定どおり進捗している。
令和7年度末で完了予定。

問 ゴミ収集運搬処理事業
費が減額している要因は

小林 孝昭議員

答 国の電気・ガス料金負担軽減支援によ
り、RDF施設で使用している燃料費な
どの調整単価が下がったため。

問 オンデマンドバスの予約
機能追加による利用者
数の推移は

安川 繁典議員

答 一日平均乗降者数は令和5年度108人、
6年度119人、7年度は4月以降で120
人。機能を追加したことで利用者増に
つながっている。

問 ふるさと応援寄附金の
経費などを除いた実質
寄附額は

藤木 泰議員

答 寄附金額約3億4千万円から事業費、人
件費と町民のふるさと納税で減収とな
った町民税を差し引くと、約1億1200万
円となる。

問 JR宇美駅前イルミネー
ション設置に関するJR
からの協力は

鳴海 圭矢議員

答 JR側に事前相談を行っているが、具体策
はない。今後も、駅前の活性化など相談
しながら取り組んでいきたい。

問 パブリックコネクトを
利用した職員採用の成
果と経費の増額は

丸山 康夫議員

答 令和5年度と比較して受験者が約7倍
に増えた。それに伴い経費も増額した。

問 地域づくりコーディネー
ターの役割は

高橋 紳章議員

答 コミュニティ運営協議会の各種会議な
どに参加して地域の相談受付・助言を
行い、実情に合わせた伴走型支援を行
っている。

後期高齢者医療特別会計

問 1人当たりの高額な医療費
を下げるための取組は

丸山 康夫 議員

答 生活習慣病の対策強化などに向けて、
医療費適正化推進計画を策定中。

国民健康保険特別会計

問 医療費の返納金が増加
している要因は

小林 孝昭 議員

答 国保加入者の転出により1件で約100万
円を超える返納金が発生したため。

上水道事業会計

問 漏水調査を実施している
にもかかわらず、有収率
(収入水量/供給水量)
が上がらない要因は

高橋 紳章 議員

答 町内に130kmある上水道配水管と各家
庭の給水管の漏水が原因と推測する。
調査結果をもとに、段階的に修繕を
行っている。

流域関連公共下水道
事業会計

問 福岡刑務所との下水道
接続時期は

丸山 康夫 議員

答 国の事業認可後、令和8年度以降に事
業開始、9年度に接続する見込み。

令和6年度
決算審査



議員はここに注目

9月定例会では決算審査特別委員会を
設置し、前年度の予算の使い道が適正か
つ効果的であったか、いかに今後の予算
に反映させるかなどの質疑を行いました。
ここでは主な質疑を要約してお知らせ
します。

二次元コードから動画をご覧になれます



特別会計



一般会計

決算審査特別委員会 委員長 白水 英至 議員

決算の概要

※万円未満四捨五入

一般会計	歳入総額	166億8581万円
	歳出総額	159億9031万円
後期高齢者医療特別会計	歳入総額	6億3623万円
	歳出総額	6億 493万円
国民健康保険特別会計	歳入総額	38億 224万円
	歳出総額	36億9566万円
上水道 事業会計	収益的収入	8億1415万円
	収益的支出	7億3546万円
	資本的収入	5109万円
	資本的支出	2億9295万円
流域関連 公共下水道 事業会計	収益的収入	9億9453万円
	収益的支出	8億8119万円
	資本的収入	5億3390万円
	資本的支出	7億1597万円

注目の決算をピックアップ

上水道基本料金減免

【決算:5218万円】



【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用】

物価高騰の影響を受けている町民や事業者の負担を軽減するため、上水道基本料金(3か月分)の減免事業を実施した。

また、上水道未使用世帯と事業所293件に減免相当額の燃えるごみ袋を配付した。

check point 『町民からは「日々の生活に直結するのでとてもありがたい」との声も届いている。』

町道竹ヶ下～桜ヶ丘線道路法面動態観測業務

【決算:1121万円】



令和3年度の被災直後から継続して復旧工事箇所の動態観測を実施。

また、令和5年7月の大雨により被災箇所が増えたことから動態観測箇所を追加。災害復旧工事は令和7年度内の完了を予定している。

check point 『二度と崩落が発生しないよう、しっかり観測を行いながら工事を進めてもらいたい。』

プレミアム付き地域商品券発行事業

【決算:1219万円】

★20%プレミアム★



【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用】

福岡県の補助金が電子マネーを対象としているため、紙媒体の商品券からはじめて電子プレミアム付き商品券に変更した。

販売総額: 100,000,000円

プレミアム総額: 20,000,000円

換金率: 99.49%

check point 『国の交付金は町民の生活に寄り添い、事業者支援につながる使い道とすることが大切だ。』

消防車購入事業費(第4分団)

【決算:2475万円】



【緊急防災・減災事業債(充当率100%)活用】

平成16年度に購入した宇美町消防団第4分団小型動力ポンプ積載車が購入後19年経過しているため、車両の更新を行った。

check point 『今年は全国各地で山火事が多発した。井野山などの山間地を管轄している第4分団には、機動性に優れた小型ポンプ車を整備することで、山林火災にもしっかり対応していただきたい。』

議員が注目したお金の使い道

(万円未満四捨五入)

小中学校給食費値上げ分補填

【決算:2062万円】



【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用】

物価高騰の影響で、令和6年度は学校給食費も一食当たり40円の値上げが必要となった。

値上げ分は、各世帯への負担を求めず、国の交付金を活用し、経済的負担軽減を図った。

check point 『今後も保護者の負担が変わらぬよう、値上げ分は町が努力して対応していくべきだ。』

ボランティア・町民活動支援センター運営事業

【決算:397万円】



ボランティア・町民活動支援センター「ふみらぼ」は、ボランティアを始めたい人とボランティア団体とのマッチングや、団体活動へのアドバイスなどを支援している。

check point 『ボランティアセンターの認知度が低いことが課題と考えられる。広報うみやSNSをうまく活用し、さらなる積極的な情報発信で活動が周知されることを望む。』

西鉄バス宇美～太宰府線 運行維持負担事業

【決算:180万円】



西鉄バス宇美～太宰府線の路線維持を目的として、運行に係る経費の赤字分を宇美町と太宰府市で距離按分により負担した。

運行期間 令和5年10月1日～令和6年9月30日

運行赤字 3,325,014円×0.54046(距離按分率)
=1,797,000円

check point 『路線を維持するために、町の負担は致し方ないが、負担金を少なくしていくためにも、利用者を増やしていく取組が必要だ。』

粕屋南部消防組合運営事業

【決算:4億654万円】



粕屋南部消防組合の運営にあたり、糟屋6町で分担金を負担した。(総額22億円)

粕屋南部消防本部は、消防・救助活動を担うほか、防災センターを備え、町民の自主防災力向上を図るための防災学習なども行っている。

check point 『小中学生の総合学習や、自主防災組織での活動などの場面で積極的に防災センターを活用してほしい。』

審査した議案と各議員の賛否

○は賛成 × は反対を表しています

議員名	小林孝昭	安川禎幸	高橋紳章	丸山康夫	平野龍彦	安川繁典	黒川悟	鳴海圭矢	白水英至	藤木泰	審議結果	討論など
議案名												
宇美町固定資産評価審査委員会委員の選任 (百田 吉一氏)	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	同意	
宇美町教育委員会委員の任命 (田島 章江氏)	—	—	—	—	—	—	欠	—	—	—	同意	無記名投票
宇美町自治功労表彰候補者の推薦 (西川 博之氏)	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	承認	
宇美町自治功労表彰候補者の推薦 (松枝 千汐氏)	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	承認	
人権擁護委員候補者の推薦 (佐々木 恵美子氏)	—	—	—	—	—	—	欠	—	—	—	適任 答申	簡易採決
人権擁護委員候補者の推薦 (石貴 文子氏)	—	—	—	—	—	—	欠	—	—	—	適任 答申	簡易採決
工事請負契約締結 (令和7年度 総合スポーツ公園夜間照明設備LED化改修工事)	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決	
宇美町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用 弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決	
宇美町議会議員及び宇美町長の選挙における選挙運 動の公費負担に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決	
宇美町子ども医療費の支給に関する条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決	賛成：鳴海
宇美町職員の育児休業等に関する条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決	
令和7年度 宇美町国民健康保険特別会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決	
令和7年度 宇美町一般会計補正予算 (第3号)	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決	
令和6年度 宇美町後期高齢者医療特別会計歳入歳出 決算認定	○	○	○	欠	○	○	欠	×	○	○	認定	反対：鳴海
令和6年度 宇美町国民健康保険特別会計歳入歳出 決算認定	○	○	○	欠	○	○	欠	×	○	○	認定	反対：鳴海
令和6年度 宇美町上水道事業会計利益の処分及び 決算認定	○	○	○	欠	○	○	欠	○	○	○	認定	
令和6年度 宇美町流域関連公共下水道事業会計利益 の処分及び決算認定	○	○	○	欠	○	○	欠	○	○	○	認定	賛成：平野
令和6年度 宇美町一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	欠	○	○	欠	○	○	○	認定	
令和6年度 宇美町健全化判断比率及び資金不足比率 の報告	—	—	—	欠	—	—	欠	—	—	—		
令和7年度 宇美町一般会計補正予算 (第4号)	○	○	○	欠	○	○	欠	○	○	○	可決	

※古賀ひろ子議長に表決権はありません。

議員辞職のお知らせ

入江政行議員から令和7年8月23日、一身上の都合により議員を辞職したい旨の議員辞職願が提出され、令和7年8月25日、地方自治法第126条の規定に基づき、議長において許可されました。
※議員の欠員数が議員定数の6分の1を超えていないため、補欠選挙は行われません。

一般質問

町政を問う6人が登壇



一般質問とは定例会で行われ、議員が町政全般について、町長などの執行機関の考え方や方針などを問いただすことです。

掲載内容は、質問者自身が要約し、広報常任委員会で校正しています。

白水 英至 議員 12P

◆一本松公園の維持管理と整備方針は

高橋 紳章 議員 13P

◆民生委員・児童委員の活動と支援体制は

安川 禎幸 議員 14P

◆人口減少社会に向けた宇美町の将来像は

丸山 康夫 議員 15P

◆こどもの安全対策にどう取り組むのか

鳴海 圭矢 議員 16P

◆多文化共生のまちづくりへの取り組みは

小林 孝昭 議員 17P

◆県道68号線の渋滞緩和策は

議会をもっと身近に
ライブ配信・録画配信をご視聴ください

宇美町議会では、議場で行う議会・特別委員会のライブ配信と録画配信を行っています。

ライブ配信は、傍聴に来られない方のために生中継で配信しています。

録画配信は、議会のホームページから議案審査や一般質問の様子をいつでもご覧いただけます。字幕付きですので音声聞き取りにくい方でも、分かりやすくご覧いただけます。



ライブ配信・録画配信は
こちらから



私の視点「なぜここを質問したか」

民生委員・児童委員の役割などが町民に十分認知されていない。担い手不足などの課題から、町の支援がさらに必要と考える。

民生委員・児童委員の活動と支援体制は

たかはし のぶあき
高橋 紳章 議員



録画配信は
こちらから▶

答弁 (町長) 活動しやすい環境を整える

問 民生委員・児童委員を町民に幅広く知ってもらうための策は。

答 福祉課長
認知度向上のため、「民生委員」と明記された蛍光ジャンパーを着用し、登下校の見守り、自治会や町内行事などにも参加

問 活動に対する町との情報共有・連携は。

答 福祉課長
町や社会福祉協議会も出席する定例会で、事例報告や事業の周知など情報共有を行っている。また、町民からの相談内容により、福祉課から相談先の紹介など必要に応じて関係課や関係機関と連携し、対応している。

問 民生委員・児童委員の活動状況は。

答 福祉課長
町民のさまざまな福祉的相談に応じ、行政や関係機関へつなぐ役割を担うほか、高齢者や児童・生徒の見守り、居場所づくりを目的とした地域福祉活動に取り組んでいる。

問 町長が考える民生委員・児童委員制度の意義と、今後のさらなる支援の在り方は。

答 町長
高齢化や単身化など複合的な困難課題が増加する中で、支援を必要としている人が孤立することがないように、民生委員・児童委員は「つなぎ役」として

問 活動に対する町の支援状況は。

答 福祉課長
定例会では、福岡県、粕屋警察署、介護事業所などから講師を招き研修会を実施。また、年1回町外の民生委員・児童委員との情報交換も行っている。

されている。
12月には一斉改選が行われるため、広報うみ、ホームページで改めて活動内容などの掲載を行う。
また、委嘱された際に貸与している門標プレートについては、再度、分かりやすい場所への設置を提案していく。

宇美町の民生委員・児童委員数

定数	43人	欠員数	4人
現在の数	39人		

民生委員・児童委員のユニフォーム



質問を終えて
今後も、民生委員・児童委員の方が引き受けて良かったと思われる支援体制になることを切に願う。

大切かつ必要な存在である。活動しやすい環境を整えることが行政の仕事であると考えている。訪問活動に専念できるように、資料作成の支援、研修や事例検討による情報共有を今後も継続し、行政としてしっかり支援していく。



私の視点「なぜここを質問したか」

平成15年7月の猛烈な豪雨で一本松公園は大きな被害を受け、随分変わり果てた。以前のにぎわう公園を取り戻し、こどもから大人まで楽しむ姿を見たい。

一本松公園の維持管理と整備方針は

しろはら えいじ
白水 英至 議員



録画配信は
こちらから▶

答弁 (町長) 持続可能な公園にしていく必要がある

整備状況	
平成31年度	トイレの改修、スケートボード場の整備
令和2年度	猫石側トイレの移設改修
令和3年度	公園入口付近に駐車場料金ゲート設置

問 一本松公園の位置付けは。

答 都市整備課長
一本松公園は、本町の豊かな自然環境を象徴する重要な都市公園であり、憩いの場として位置付けられた観光資源である。

問 これまでの公園の整備状況は。

答 都市整備課長
平成29年度に「一本松公園基盤整備懇談会」を設置し、有識者や町民代表からの意見をもとに調査を行った。調査結果をもとに、次表のとおり整備を行った。



使用休止中のバンガロー

問 バンガローを改修し、冬登山者も利用可能な通年制にしては。

答 都市整備課長
バンガローを通年利用するには、旅館業法に基づく簡易宿所営業の許可を取得する必要があるため、現時点で通年利用に向けた整備は考えていない。

問 グランピング施設の誘致やアスレチックなどの整備は。

答 都市整備課長
施設などの誘致は、今後の官民連携で民間事業者の構想や計画と差異が生じる可能性があるため、慎重な精査が必要である。今年度中に「みどりの基本計画」を策定。この計画に基づき来年度に「一本松公園基本計画」

質問を終えて
「こどもたちが三郡山系の豊かな自然の中で学び、大人も癒される場である」という町長の答弁に尽きる。

を策定し、交付金を活用しながら、整備を進める。

問 一本松公園でバーベキューなどをされているが、山火事などの発生を懸念する。一本松公園の監視体制は。

答 環境課長
巡視清掃業務を委託し、2名体制で日常的な見回りと環境整備を行っている。

問 町長が描く一本松公園の未来像は。

答 町長
地域資源と連携しながら、持続可能な公園にしていく必要がある。来年度策定予定の基本計画の中で、公園の将来像や整備方針をしっかりと示したい。

やすかわ よしゆき 議員
安川 禎幸 議員録画配信は
こちらから▶

総合戦略

私の視点「なぜここを質問したか」

2024年に発表された国の人口推計では2050年の宇美町の人口は3万1千人程になると推計される。来るべき人口減少社会に向けた宇美町の将来像をお尋ねしたい。

人口減少社会に向けた
宇美町の将来像は

答弁 (町長) 選ばれる町をめざしてまちづくりを進める

問 宇美町人口ビジョンによる将来人口の推移は、
答 企画財政課長
国は2050年には3万1000人程になると推計しているが、近年転入者増により社会人口は増加している。
また、宇美町総合戦略の施策により3万4000人余の人口をめざしている。



▲宇美町総合戦略はこちら

問 農業従事者の減少と有害鳥獣の対策は。
答 都市整備課長
次世代の就農者支援として国の補助メニューの活用や農地の集約など、営農の改善に努める。有害鳥獣対策は、捕獲従事者の確保も想定し、担い手不足対策を実施する。

問 今後の長期的な財政見通しは。
答 企画財政課長
人口減少による税収の減少、高齢化による医療費などの増加、賃金諸物価の上昇が想定される。今後予想される公共施設の老朽化や災害などに備えて、健全な財政運営に努めていきたい。

問 都市計画マスタープランの方針「コンパクト・プラス・ネットワーク」とは。
答 都市整備課長
コンパクトは医療福祉、商業施設などの生活サービス機能と居住地域を特定のエリアに集約すること。

ネットワークは、集約された拠点間を公共交通機関で結ぶことで、地域間の連携強化、移動の利便性を高める。

問 スマートインター設置と都市計画道路整備の展望は。
答 一木副町長
九州地方整備局、福岡国道事務所、ネクスコ西日本、福岡県、町による勉強会を通じて、ス



質問を終えて

待ったなしの人口減少社会の到来に向けた「選ばれるまちづくり」に期待したい。

問 人口減少社会に向けた宇美町の将来像は。
答 町長
子育てするなら宇美町での施策が評価されて人口の社会増が続いている。
引き続き選ばれる町をめざしてまちづくりを展開していきたい。

スマートインター設置と都市計画道路整備に向けた共通認識の確立、実現可能性の検証、具体的な振興計画の策定を進める。
問 児童生徒の減少による学校の再編、学校の統合は。
答 教育長
時間をかけて地域の方との意見交流を行い、課題を共有して「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」に努める。

安全・安心

私の視点「なぜここを質問したか」

こどもたちの尊い命を守るためには、こどもたちが危険に接した際、自ら身を守る行動をとれるような教育と安全対策を充実させる必要があると考える。

こどもの安全対策に
どう取り組むのか

答弁 (教育長) 着実に一つずつ成し遂げる

まるやま やすお 議員
丸山 康夫 議員録画配信は
こちらから▶

問 水難事故を防ぐという観点から、水泳授業の民間委託の取組とその成果は。
答 教育長
本年度から全小・中学校で民間委託を実施している。
小学1年生全員が水に顔をつけることができおり、こどもが安全を実感する、水に慣れ親しむ、技能向上するという目的達成の意味では、成果は顕著だ。

問 水難事故を防ぐための取組は。
答 教育長
令和8年度から民間プールで、段階的に着衣水泳を実施するよう、既に打ち合わせを進めている。また、近年は海での離岸流事故や河川での事故などについて、個別の指導も加えている。

問 こどもたちに対する交通安全教育は。
答 教育長
本町では、小学1年生と4年生に交通安全教室を実施している。粕屋警察署と交通安全協会の



通学路戦士パトローラの交通安全教室

協力で、1年生は横断歩道の渡り方、4年生は自転車の乗り方について指導している。

問 本町でも令和6年4月1日から自転車ヘルメット補助金制度を導入したが、制度を活用した人数と補助金額は。
答 地域コミュニティ課長
令和6年度の申請件数は46件で、助成金額は10万8400円。7年度は、8月末現在で申請件数35件、助成金額8万5200円となっている。

補助制度を活用した児童・生徒の割合は1・2%にとどまっている。



質問を終えて

こどもの命を守るための取組は、やってやり過ぎと言うことはない。これからも継続して取り組んでほしい。

問 学校現場における熱中症対策は。
答 教育長
熱中症警戒アラームを全ての学校に設置し、熱中症指数値28以上では、運動などは行わないことを徹底している。
また、生徒がいつでも水筒に水を補給できるよう、町PTA連合会事務局に浄水器設置のご案内をしている。

問 緑道の自転車通行帯の整備は。
答 都市整備課長
通学路でもあり、緊急性が高いと考えている。令和8年度以降に予算の範囲内で順次補修を行う。

ている。

志免宇美線



私の視点「なぜここを質問したか」

志免宇美線の早期完成と県道 68 号線の慢性的渋滞解消に対する開通時期の見通し、完成までの間の渋滞緩和策、さらに町の取組と見解について問う。

こばやし たかあき
小林 孝昭 議員

県道68号線の渋滞緩和策は

答弁 (町長) 粘り強く働きかけを行っていく

録画配信は
こちらから▶



問 福岡県土整備事務所からは、橋などの大型構造物の施工に向け、道路用地の取得や物件補償に力を入れていくとの説明を受けている。

答 都市整備課長
福岡県土整備事務所からは、橋などの大型構造物の施工に向け、道路用地の取得や物件補償に力を入れていくとの説明を受けている。

問 今年度の志免宇美線の事業予定は。

答 都市整備課長
用地取得面積は、令和6年度末時点で本線用地総面積約1万6600㎡のうち契約済み面積が約6500㎡。進捗率は約39%となっている。

問 志免宇美線の本町域における用地取得の進捗状況は。

答 都市整備課長
県道福岡太宰府線は、福岡市への通勤率が高く、慢性的な交通渋滞や歩道の未整備区間があり、特に光正寺古墳入口交差点は、朝夕の通勤時間帯の渋滞が発生している。

問 県道68号線渋滞の発生箇所は。

答 都市整備課長
県道福岡太宰府線は、福岡市への通勤率が高く、慢性的な交通渋滞や歩道の未整備区間があり、特に光正寺古墳入口交差点は、朝夕の通勤時間帯の渋滞が発生している。

問 志免宇美線の早期完成を強く望むが、国の認可を受けている区間の完成時期と完成するまでの県道68号線の渋滞緩和策は。

答 都市整備課長
志免宇美線は、福岡都市圏における広域幹線道路であり、社会的効果は非常に大きく、福岡都市圏の発展に寄与する重要な路線である。

問 志免宇美線の早期完成を強く望むが、国の認可を受けている区間の完成時期と完成するまでの県道68号線の渋滞緩和策は。

答 都市整備課長
志免宇美線は、福岡都市圏における広域幹線道路であり、社会的効果は非常に大きく、福岡都市圏の発展に寄与する重要な路線である。

問 志免宇美線の早期完成を強く望むが、国の認可を受けている区間の完成時期と完成するまでの県道68号線の渋滞緩和策は。

答 都市整備課長
志免宇美線は、福岡都市圏における広域幹線道路であり、社会的効果は非常に大きく、福岡都市圏の発展に寄与する重要な路線である。

問 志免宇美線の早期完成を強く望むが、国の認可を受けている区間の完成時期と完成するまでの県道68号線の渋滞緩和策は。

答 都市整備課長
志免宇美線は、福岡都市圏における広域幹線道路であり、社会的効果は非常に大きく、福岡都市圏の発展に寄与する重要な路線である。

問 志免宇美線の早期完成を強く望むが、国の認可を受けている区間の完成時期と完成するまでの県道68号線の渋滞緩和策は。

答 都市整備課長
志免宇美線は、福岡都市圏における広域幹線道路であり、社会的効果は非常に大きく、福岡都市圏の発展に寄与する重要な路線である。

問 志免宇美線の早期完成を強く望むが、国の認可を受けている区間の完成時期と完成するまでの県道68号線の渋滞緩和策は。

答 都市整備課長
志免宇美線は、福岡都市圏における広域幹線道路であり、社会的効果は非常に大きく、福岡都市圏の発展に寄与する重要な路線である。

問 志免宇美線の早期完成を強く望むが、国の認可を受けている区間の完成時期と完成するまでの県道68号線の渋滞緩和策は。

答 都市整備課長
志免宇美線は、福岡都市圏における広域幹線道路であり、社会的効果は非常に大きく、福岡都市圏の発展に寄与する重要な路線である。

問 志免宇美線の早期完成を強く望むが、国の認可を受けている区間の完成時期と完成するまでの県道68号線の渋滞緩和策は。

答 都市整備課長
志免宇美線は、福岡都市圏における広域幹線道路であり、社会的効果は非常に大きく、福岡都市圏の発展に寄与する重要な路線である。

問 志免宇美線の早期完成を強く望むが、国の認可を受けている区間の完成時期と完成するまでの県道68号線の渋滞緩和策は。

答 都市整備課長
志免宇美線は、福岡都市圏における広域幹線道路であり、社会的効果は非常に大きく、福岡都市圏の発展に寄与する重要な路線である。

問 志免宇美線の早期完成を強く望むが、国の認可を受けている区間の完成時期と完成するまでの県道68号線の渋滞緩和策は。

答 都市整備課長
志免宇美線は、福岡都市圏における広域幹線道路であり、社会的効果は非常に大きく、福岡都市圏の発展に寄与する重要な路線である。

問 志免宇美線の早期完成を強く望むが、国の認可を受けている区間の完成時期と完成するまでの県道68号線の渋滞緩和策は。

答 都市整備課長
志免宇美線は、福岡都市圏における広域幹線道路であり、社会的効果は非常に大きく、福岡都市圏の発展に寄与する重要な路線である。

問 志免宇美線の早期完成を強く望むが、国の認可を受けている区間の完成時期と完成するまでの県道68号線の渋滞緩和策は。

答 都市整備課長
志免宇美線は、福岡都市圏における広域幹線道路であり、社会的効果は非常に大きく、福岡都市圏の発展に寄与する重要な路線である。



質問を終えて

開通までの渋滞緩和対策は極めて重要な課題であり、志免宇美線の一日も早い実現を強く願っている。



県道 68 号線の渋滞

部長に直接面会し、早期完成について申し入れを行った。

多文化共生



私の視点「なぜここを質問したか」

少子高齢化社会を迎える中で、今後もますます外国人住民の増加が予想される。共生のためには何が必要なのか問う。

なるみ けいや
鳴海 圭矢 議員

多文化共生のまちづくりへの取り組みは

答弁 (町長) 全ての人が住みやすいまちづくり

録画配信は
こちらから▶



問 本町の外国人住民の数は。また、その中で消防団に入団している人数は。

答 総務課長
令和7年8月末現在の外国人人口は、738人。同時期の本町の人口、3万6741人に対して約2%を占めている。消防団員については現在1名の方が在籍している。

問 外国人が国民健康保険の予算を圧迫しているような話が流布しているが、国保加入している外国人の割合は。

答 住民課長
令和7年8月末時点で、加入者6262名のうち外国籍は136名(割合で2・17%)。直近1年間の利用状況はレセプト11万9911件中、外国人分は5011件(割合で0・45%)。

問 外国人が国民健康保険の予算を圧迫しているような話が流布しているが、国保加入している外国人の割合は。

答 住民課長
令和7年8月末時点で、加入者6262名のうち外国籍は136名(割合で2・17%)。直近1年間の利用状況はレセプト11万9911件中、外国人分は5011件(割合で0・45%)。

問 外国人が国民健康保険の予算を圧迫しているような話が流布しているが、国保加入している外国人の割合は。

答 住民課長
令和7年8月末時点で、加入者6262名のうち外国籍は136名(割合で2・17%)。直近1年間の利用状況はレセプト11万9911件中、外国人分は5011件(割合で0・45%)。

問 外国人が国民健康保険の予算を圧迫しているような話が流布しているが、国保加入している外国人の割合は。

答 住民課長
令和7年8月末時点で、加入者6262名のうち外国籍は136名(割合で2・17%)。直近1年間の利用状況はレセプト11万9911件中、外国人分は5011件(割合で0・45%)。

問 外国人が国民健康保険の予算を圧迫しているような話が流布しているが、国保加入している外国人の割合は。

答 住民課長
令和7年8月末時点で、加入者6262名のうち外国籍は136名(割合で2・17%)。直近1年間の利用状況はレセプト11万9911件中、外国人分は5011件(割合で0・45%)。

問 外国人が国民健康保険の予算を圧迫しているような話が流布しているが、国保加入している外国人の割合は。

答 住民課長
令和7年8月末時点で、加入者6262名のうち外国籍は136名(割合で2・17%)。直近1年間の利用状況はレセプト11万9911件中、外国人分は5011件(割合で0・45%)。

問 外国人が国民健康保険の予算を圧迫しているような話が流布しているが、国保加入している外国人の割合は。

答 住民課長
令和7年8月末時点で、加入者6262名のうち外国籍は136名(割合で2・17%)。直近1年間の利用状況はレセプト11万9911件中、外国人分は5011件(割合で0・45%)。

問 外国人が国民健康保険の予算を圧迫しているような話が流布しているが、国保加入している外国人の割合は。

答 住民課長
令和7年8月末時点で、加入者6262名のうち外国籍は136名(割合で2・17%)。直近1年間の利用状況はレセプト11万9911件中、外国人分は5011件(割合で0・45%)。

問 外国人が国民健康保険の予算を圧迫しているような話が流布しているが、国保加入している外国人の割合は。

答 住民課長
令和7年8月末時点で、加入者6262名のうち外国籍は136名(割合で2・17%)。直近1年間の利用状況はレセプト11万9911件中、外国人分は5011件(割合で0・45%)。

問 外国人が国民健康保険の予算を圧迫しているような話が流布しているが、国保加入している外国人の割合は。

問 生活保護を受けている外国人の割合は。

答 福祉課長
受給状況は、全体の約1・5%程度。

問 行政情報の多言語化、ゴミの出し方、その他生活の中での重要なルールや注意を呼び掛ける看板などに、日本語以外の表記が必要では。

答 総務課長
生活に密着する情報であるゴミの出し方リーフレット、わが家の防災ハンドブック、国保制度の概要については多言語化したものを配布している。

問 外国人差別を防いで、多文化共生のまちづくりをどう進めていくか、町長の考えは。

答 町長
本年3月に改訂した人権教育・啓発基本指針では、外国人の人権課題を盛り込み、「異なる文化を理解し、多様な文化を持つ人々が地域に居住する町民として、ともに生きる社会の実

問 外国人差別を防いで、多文化共生のまちづくりをどう進めていくか、町長の考えは。

答 町長
本年3月に改訂した人権教育・啓発基本指針では、外国人の人権課題を盛り込み、「異なる文化を理解し、多様な文化を持つ人々が地域に居住する町民として、ともに生きる社会の実

問 外国人差別を防いで、多文化共生のまちづくりをどう進めていくか、町長の考えは。

答 町長
本年3月に改訂した人権教育・啓発基本指針では、外国人の人権課題を盛り込み、「異なる文化を理解し、多様な文化を持つ人々が地域に居住する町民として、ともに生きる社会の実

問 外国人差別を防いで、多文化共生のまちづくりをどう進めていくか、町長の考えは。

答 町長
本年3月に改訂した人権教育・啓発基本指針では、外国人の人権課題を盛り込み、「異なる文化を理解し、多様な文化を持つ人々が地域に居住する町民として、ともに生きる社会の実

問 外国人差別を防いで、多文化共生のまちづくりをどう進めていくか、町長の考えは。

答 町長
本年3月に改訂した人権教育・啓発基本指針では、外国人の人権課題を盛り込み、「異なる文化を理解し、多様な文化を持つ人々が地域に居住する町民として、ともに生きる社会の実

問 外国人差別を防いで、多文化共生のまちづくりをどう進めていくか、町長の考えは。

答 町長
本年3月に改訂した人権教育・啓発基本指針では、外国人の人権課題を盛り込み、「異なる文化を理解し、多様な文化を持つ人々が地域に居住する町民として、ともに生きる社会の実

問 外国人差別を防いで、多文化共生のまちづくりをどう進めていくか、町長の考えは。



質問を終えて

今後は外国人を単なる労働力ではなく、同じ町に住む人間として、お互いに尊重し合う関係を作ることが重要。



(イメージ画像)

現をめざした教育・啓発の推進を施策の基本方針としている。外国人に対する差別や偏見をなくし、異なった文化や宗教、生活の習慣などお互いを認め合うことが大切。教育の段階からしっかり取り組み、町民にも啓発して、宇美町に住む全員が住みやすいまちづくりを進めていきたい。

